

コロナ危機から命と生活を守る！ 安倍政権を倒し民主主義的社會主義へ！

民主主義的社會主義運動・Movement
for Democratic Socialism

6・27MDS大阪市地区集会



↑5月24日、緊急事態宣言中止！検査拡充と隔離・治療を！生活・休業の個人給付と補償を！検察庁法改正案廃案！安倍・維新はやメロ！平和と民主主義をめざす全国交歓会(ZENKO)が、大阪市内でデモに取り組んだ。

Zoom 参加
も募集中！

- 6月27日(土)13:30~16:00
- LAG センター大阪市城東区蒲生 1 丁目 6-21 (京橋駅下車徒歩5分)【資料代500円】

<集会プログラム>

- 【第1部】(13:30~)
- ▶あいさつ 山川よしやす MDS 書記長
- ▶基調講演 『コロナ危機から命と生活を守る！
安倍政権を倒し民主主義的社會主義へ！』
MDS大阪市地区委員長 森 厚子
- ▶特別講演『安倍政権の新型コロナ医療政策の誤りと
闘いの方向性』 医療問題研究会 医師
- ▶米国 DSA の闘いの紹介映像
- 【第2部】(15:00~)
- ▶『月桃の花』歌舞団
- ▶MDS大阪市地区で活動している人からの訴え
- ▶グループ討議
- ▶『2020ZENKOin大阪』の成功を！
- ▶週刊MDS購読のお願い
- ▶まとめ・行動提起

コロナ禍で広がった危機は人災です。資本主義の限界が誰の目にも明らかになりました。

これまでの生活、医療、教育に関わる予算を削り、効率化の下、民営化が進められてきた結果がコロナ禍の下で人の命を奪う状態に至っています。PCR検査をなかなか受けられずに死に至ったり、自宅療養で死に至ったり、感染防護資材も人員も足りない中で院内感染が広がったりと医療崩壊が広がりましたが、もともと医療の予算が切り縮められ、病院が減らされ、保健所などが減らされてきたのが原因です。補償もなく自粛・休業要請の中で生活の糧を奪われる人が続出し、収入減・失業・廃業・派遣切りと生きることも脅かす事態になっています。大企業に課税して予算を確保して、軍事費やカジノや大企業の儲けのための予算でなく、医療や教育に予算を振り向け、働く者の権利を保障する政策を進めるべきだったのです。

一方で、安倍政権は「桜を見る会」「森友・加計疑獄」をはじめ、秋元カジノ問題、河合公職選挙法違反など法を犯す行為を平気で続け、その追及から逃れるために、黒川氏を検事総長に据え検察をコントロール下に置くことまで行おうとしてきました。

米国では民主主義的社會主義を掲げるDSAが国民皆保険、大学無償化を掲げ、コロナ禍の下で家賃不払いの運動をすすめ、支持を広げています。

私たちMDSは、アンケートなどで地域の声を集め行政への要請につなげ、命・暮らしを守れと取り組んできました。医療や介護を脆弱化し教育権を奪い、明日を生きられぬ貧困を押し付ける新自由主義路線ではなく、民主主義的社會主義を展望とする人権尊重の平等な社会を今こそつくりだしていくことを訴えます。地域からみんなで声を上げ、安倍政権・維新を倒しましょう！MDS集会にご参加ください！

★主催:MDS(民主主義的社會主義運動)★ <http://www.mdsweb.jp/>

〒536-0016 大阪市城東区蒲生1丁目6-21LAGセンター内 電話:06-6934-8512 FAX:06-6934-8112
担当(森)携帯:090-3275-7312 メール:moririrn0324@yahoo.co.jp